



# 神の沈黙

シリーズ～詩編～

棕櫚の主日 2015/3/29

---

## マタイ福音書27章32～50節

兵士たちは出て行くと、シモンという名前のキレネ人に出会ったので、イエスの十字架を無理に担がせた。そして、ゴルゴタという所、すなわち「されこうべの場所」に着くと、苦いものを混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはなめただけで、飲もうとされなかった。彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその服を分け合い、そこに座って見張りをしていた。イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。折から、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右にもう一人は左に、十字架につけられていた。

そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって、言った。「神殿を打ち倒し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」 <中略>

さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

<中略> しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。

# 十字架の詩編～詩編22篇～

## 福音書

マタイ27:35 彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその服を分け合い

マルコ15:29 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって言った。

マタイ27:43「神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救ってもらえ。『わたしは神の子だ』と言っていたのだから。」

## 詩編22篇

19 わたしの着物を分け／衣を取ろうとしてくじを引く。

8 わたしを見る人は皆、わたしを嘲笑い／唇を突き出し、頭を振る。

9「主に頼んで救ってもらおうがよい。主が愛しておられるなら／助けてくださるだろう。」

# 十字架上の叫び

マタイ三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「**エリ、エリ、レマ、サバクタニ。**」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになられたのですか」という意味である。

詩編22:2 わたしの神よ、わたしの神よ  
なぜわたしをお見捨てになるのか。  
なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず  
呻きも言葉も聞いてくださらないのか。

# 十字架上の叫び

マタイ三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「**エリ、エリ、レマ、サバクタニ。**」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになられたのですか」という意味がある。

詩編22:2 わたしの神、  
なぜわたしをお見捨てになられたのですか。  
なぜわたしを遠くにお見捨てになられたのですか。  
呻きも言葉も聞かれない。

詩編の  
引用だった。

# 神はなぜ彼を見捨てたのか？

- 神を「父(アバ)」と呼び、この地上を歩んだ誰よりも神と親しい関係であったキリスト
  - 「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。」マタイ26:39
- 一番助けて欲しい時に、助けなかった
- この時のために<神に見捨てられるために>キリストは人となり、この世に来られた
  - 「わたしたちは羊の群れ／道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。そのわたしたちの罪をすべて／主は彼に負わせられた。」イザヤ53:6

# 私たちの代わりにキリストは見捨てられた

- 人間社会にはルールが必要である
  - 人間だけが自由意志を持っているので
- ルール破りは罰せられなければならない
  - 「善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」創2:17
  - 罰のないルールには意味がない
- 罰は代わりに受けることが許されている
  - 旧約聖書に定められている「犠牲制度」
  - 犠牲は特別な動物だけに限られる



# 私たちの代わりにキリストは見捨てられた

- 動物による身代わり犠牲は破綻した!
  - 罪を犯す前に犠牲を献げるようになった
- 神は私たちを見捨てたくなかったので、独り子の神を私たちの代わりに罰せられた
  - 「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」3:16
- キリストの叫びは、私たちの罪を確かに彼が背負われた証しである!

**私たちが  
叫ばなければならなかった！**

わたしの神よ、わたしの神よ  
なぜわたしをお見捨てになるのか。  
なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず  
呻きも言葉も聞いてくださらないのか。

〈詩編22:2〉